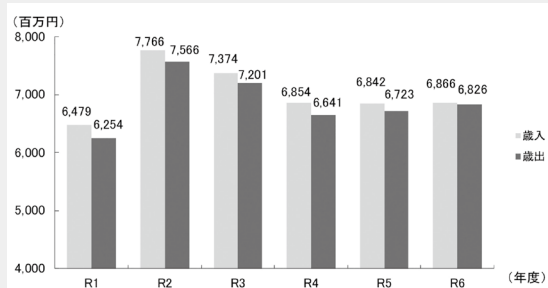


決算額の推移



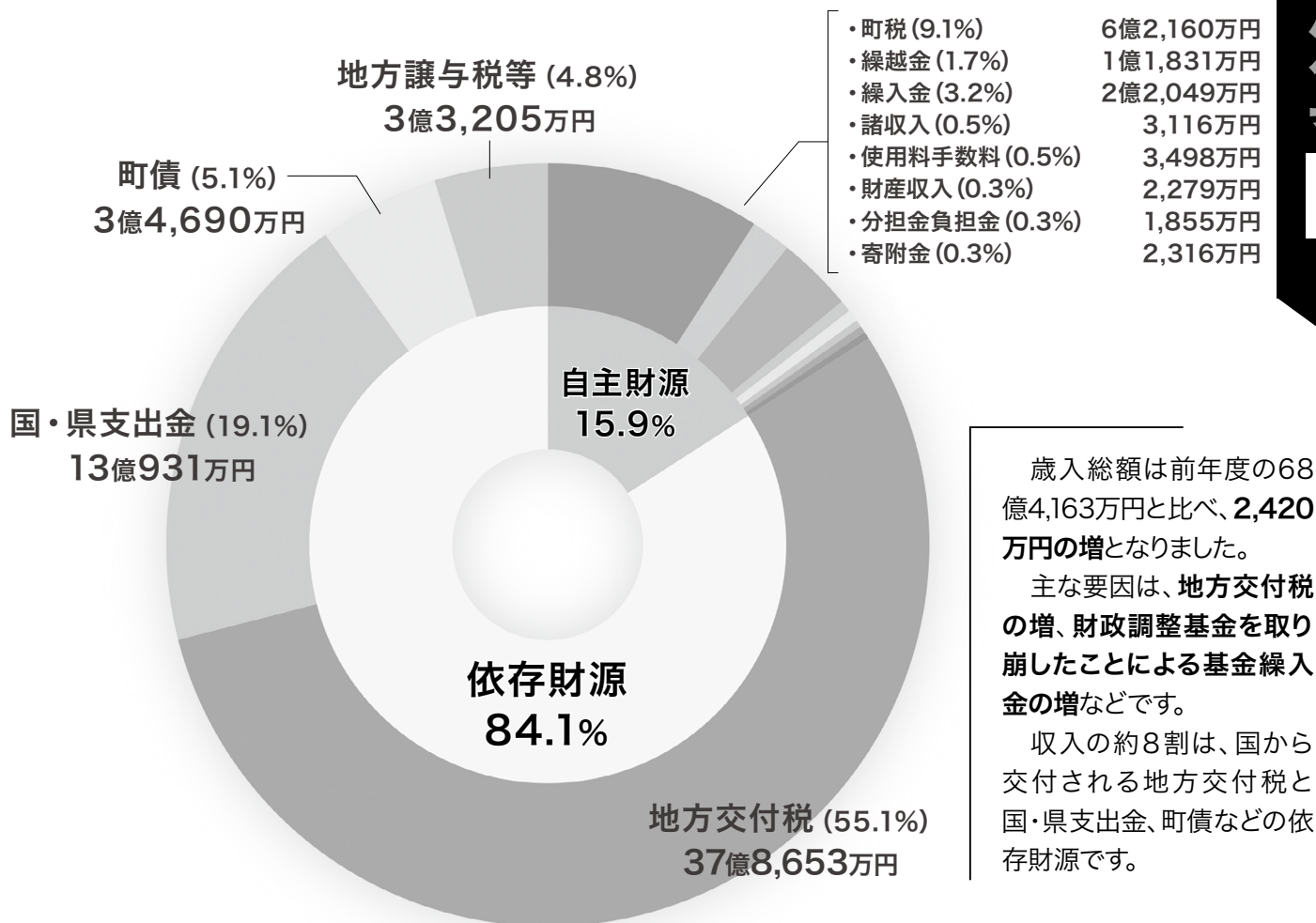
9月定例議会で令和6年度決算が認定され、前年度に比べ、歳入・歳出ともに増額の決算となりました。

主な理由として、歳入においては、地方交付税、繰入金の増、歳出においては、人件費、発掘調査事業に係る委託料、災害復旧事業に係る工事費・測量設計費、地方債の償還に係る公債費の増が挙げられます。

歳入から歳出を引き、次年度への繰越事業の財源を除いた実質収支は1,170万円の黒字となりました。

歳入

総額 68億6,583万円



歳入総額は前年度の68億4,163万円と比べ、**2,420万円の増**となりました。

主な要因は、地方交付税の増、財政調整基金を取り崩したことによる基金繰入金の増などです。

収入の約8割は、国から交付される地方交付税と国・県支出金、町債などの依存財源です。

- 町税
町民の皆さんが納めた税金
- 繰越金
前年度から繰越されたお金
- 繰入金
基金などから繰り入れたお金
- 諸収入
駐車場協力金、スポーツ振興くじ助成金など
- 使用料手数料
特定のサービスを受ける人に負担してもらったお金

- 財産収入
町が所有する財産の貸付や売払い、基金運用利子による収入など
- 分担金負担金
特定の利益を受けた人から徴収したお金
- 寄附金
町内外の皆さんから受ける金銭による寄付（ふるさと納税、企業版ふるさと納税含む）
- 地方交付税
市町村の規模等に応じて、国から交付されたお金

- 国・県支出金
町の事業に対して国や県から交付されたお金
- 町債
多額の経費がかかる事業を行うために、国や金融機関から新たに借りたお金
※借りたお金の返済金は、町債の種類ごとに定められた割合で、後年に地方交付税として国から補填されます。
- 地方譲与税等
国が徴収した自動車重量税、森林環境税などから配分されたお金